

令和3年度

決算概要

第 13 期

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

公立大学法人宮城大学

比較貸借対照表（概要）

(令和4年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	R4. 3. 31	R3. 3. 31	前期比較		科目	R4. 3. 31	R3. 3. 31	前期比較	
(資産の部)					(負債の部)				
土地	4,631	4,631	-	100.0%	資産見返負債	1,905	1,725	181	110.5%
建物	5,640	5,760	△ 120	97.9%	うち建設仮勘定見返				
構築物	90	111	△ 21	81.2%	運営費交付金	9	0	9	-
機械装置	11	14	△ 2	83.1%	うち特許権仮勘定見返				
工具器具備品	188	235	△ 47	80.1%	授業料	1	0	1	-
図書	804	798	7	100.8%	長期リース債務	16	55	△ 39	28.6%
美術品・收藏品	137	137	-	100.0%	運営費交付金債務	148	0	148	-
建設仮勘定	11	0	11	-	寄附金債務	108	107	1	100.9%
車両運搬具	0	0	△ 0	58.6%	一般未払金	469	366	104	128.4%
ソフトウェア	37	3	34	1,212.3%	短期リース債務	43	79	△ 36	54.1%
特許権仮勘定	1	0	1	-	その他負債	165	138	28	120.0%
投資有価証券	6	5	0	102.8%	負債 合計	2,855	2,470	385	115.6%
現金及び預金	1,228	1,094	133	112.2%	(純資産の部)				
未収学生納付金収入	5	6	△ 1	89.2%	資本金	15,516	15,516	0	100.0%
未収入金	129	223	△ 94	58.0%	資本剰余金合計	△ 5,928	△ 5,682	△ 246	104.3%
					資本剰余金	630	630	0	100.0%
					損益外減価償却累計額	△ 6,558	△ 6,312	△ 246	103.9%
					利益剰余金合計	471	709	△ 239	66.3%
					目的積立金	369	269	101	137.5%
					当期未処分利益	101	441	△ 339	23.0%
					その他有価証券評価差額金	5	5	0	103.0%
					純資産 合計	10,064	10,549	△ 485	95.4%
資産 合計	12,919	13,018	△ 99	99.2%	負債・純資産 合計	12,919	13,018	△ 99	99.2%

固定資産の増加・減少

(単位：百万円)

	期首 (償却累計額差引)	新規取得	当期減価償却 及び除却	期末
建物	5,760.3	159.6	280.1	5,639.8
構築物	110.8	0.0	20.9	89.9
機械装置	13.8	4.8	7.1	11.5
工具器具備品	235.2	77.7	124.5	188.4
計	6,120.1	242.1	432.6	5,929.6

ソフトウェアの増減

(単位：百万円)

	期首 (償却累計額差引)	新規取得	当期減価償却 及び除却	期末
全体		4	7	38
財務会計システム		30		
人事給与システム		10		
その他		1		

建設仮勘定内訳

(単位：百万円)

内容	金額
電気設備改修設計業務委託	5
機械設備改修設計業務	3
自動扉設計業務	1
スキルラボ工事設計業務委託	2
計	11

未収入金内訳

(単位：百万円)

内容	金額
授業料等減免費補助金	111.50
看護・医療人材養成事業費補助金	9.99
共創C受託事業 流域を学ぶインテグレイテッド教材検討業務(河川財団)	2.86
その他	4.9
計	129.29

資産見返負債勘定内訳

(単位：百万円)

内容	期中増減
資産見返運営費交付金	132.6
資産見返授業料	70.2
資産見返補助金等	-4.9
資産見返寄附金等	-1.9
資産見返物品受贈額	-25.0
建設仮勘定見返運営費交付金	8.8
特許権仮勘定見返授業料	0.7
	180.5

比較損益計算書（概要）

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：百万円）

科目	R4.3.31	R3.3.31	増減	備考 (勘定科目や事業費等の増減については括弧内に+, ▲で表示)
経常費用				
※1 教育経費	501	505	△ 5	消耗品費 (▲11M) 備品費 (▲18M) 水道光熱費 (+12M) 報酬委託手数料 (+4M) 奨学費+7M)
研究経費	172	171	2	備品費 (▲3M) 水道光熱費 (+4M)
教育研究支援経費	282	277	5	水道光熱費 (+2M) 報酬委託手数料 (+5M)
受託研究費	45	54	△ 8	獲得受託研究費の減
共同研究費	17	8	8	獲得共同研究費の増
受託事業費等	18	10	7	契約件数の増加による増
※2 人件費	2,272	2,206	66	退職手当 (+51M) 常勤教員数 (+3名) 常勤職員数 (▲1名)
※3 一般管理費	405	446	△ 41	消耗品費 (▲35M) 水道光熱費 (+6M) 賃借料 (▲10M) 修繕費 (+20M) 業務委託費 (▲14M) 減価償却費 (▲4M)
リース支払利息	1	3	△ 1	
雑損	0	1	△ 0	
経常費用 合計	3,713	3,680	33	
経常収益				
※4 運営費交付金収益	2,288	2,068	219	通常分 (+162M 内退職手当+51M) 施設整備 (+57M【参考】固定資産取得R3:185M R2:160M)
授業料等収益	1,123	1,182	△ 59	
※5 授業料	905	964	△ 59	授業料を財源とした固定資産の調達が対前期で大幅に増加したことにより減【参考】資産見返授業料計上額R2:13M→R3:90M)
入学金	185	187	△ 2	学群入学者数450名 (▲3人) 研究科入学者数38名 (+3人)
検定料	32	31	0	
講習料	1	0	1	看護人材育成研修受講料
※6 受託研究収益	52	56	△ 5	獲得件数19件 (▲1件)
共同研究収益	19	9	9	獲得件数22件 (+4件)
受託事業収益	18	10	7	契約件数12件 (+3件)
※7 補助金収益	131	215	△ 84	R3補助事業件数:4件 (▲5件)
※8 寄附金収益	32	44	△ 12	奨学寄附金11M (+3M) 地域振興寄附金15M (▲11M) その他6M (▲3M)
資産見返負債戻入	96	97	△ 1	
財務収益	0	0	0	
雑益	56	49	7	科研費間接経費増 (+6M) その他の雑益増 (+3M)
経常収益 合計	3,814	3,732	82	
経常利益	101	52	49	
臨時損失	62	120	△ 59	
固定資産除却損	6	0	6	教員の転出に伴う、科研費で調達した資産の移管等
災害損失	55	120	△ 65	震災減免額を計上。減要因は令和2年度の災害復旧補助金52M
臨時利益	62	460	△ 399	減のうち340Mは中期計画最終年度の交付金債務全額収益化の影響
資産見返負債戻入	6	0	6	固定資産除却損見合
その他臨時利益	55	71	△ 15	R3は震災減免分のみ
当期純利益	101	392	△ 291	
目的積立金取崩額	0	48	△ 48	R3は取崩無
当期総利益	101	441	△ 339	
減価償却費	434	441	△ 7	
減価償却費（損益内）	188	195	△ 7	
資産見返負債計上対象固定資産	96	97	△ 1	
リース費用他	92	98	△ 6	R2のIDカード発行システムリースアップによる減少
損益外減価償却費	246	246	△ 0	

※1 【教育費の減少要因について】

消耗品費及び備品費が対前期で大幅に減少（▲29M）しているが、これは前期に県から交付された感染症対策補助金（75M）により看護学群を中心に実習関連の備品・消耗品を大量に調達した影響によるものである。

※2 【常勤教員退職手当の増加について】

年度	退職者	内定年退職者
R2年度	9	2
R3年度	15	8

※3 【一般管理費の減少要因について】

教育費同様、前期に感染症対策費補助金により、サーマルカメラや消毒液等の物品を大量に調達した影響によるものである。

※4 【運営費交付金収益について】

令和3年度 【百万円】

	運営費交付金執行額		備考
	収益化	固定資産取得	
通常	2,222 内退職手当 149	0	常勤教員人件費の増加及び退職手当の増加
施設整備	66	177 内建設仮勘定 9	前期はデザイン新棟分の計上があり固定資産取得額は減少
経常分合計	2,288	177	
震災減免	55	0	臨時利益へ計上
全体合計	2,343	177	

※5 【授業料収益について】

授業料収益は前期比で59M減少しているが、実際のキャッシュの動きを示す予算執行ベースでは増加している。

	令和3年度	令和2年度	【百万円】 差額
< 調定額と授業料収益の関係 >			
調定人数（学生数全体から休学者を除いた人数）（注）	0	0	0
① 調定額（授業料債務計上額）	995	979	17
② 資産見返授業料（授業料財源による資産調達）	90	16	74
授業料収益（①－②）	905	963	-57

注）調定人数は前期・後期の調定人数の平均

< 調定額・減免・予算執行額との関係 >

① 調定額	995	979	17
② 震災減免	49	60	-11
③ 経済減免	7	9	-3
④ 就学支援	98	87	10
①－（②＋③＋④）	842	822	20

授業料収入予算執行額 843 823 20

なお、科目等履修生については調定額に含めないため、通常は予算額の方が大きくなる。

※6 【令和3年度に獲得した主な受託・共同研究費（直・間合計3M以上）】

（受託研究費）		【百万円】
研究課題名	委託元	金額
フードロス削減とQoL向上を同時に実現する革新的な食ソリューションの開発	筑波大学	6
大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム（SCORE）大学推進型	国立研究開発法人科学技術振興機構	7
マダコ完全養殖と高度食品加工技術	株式会社ホットランド	4

（共同研究費）		【百万円】
研究課題名	相手方	金額
牛伝染性リンパ腫に関する指標の評価手法の確立事業	東京農業大学	3
イムノシンプイオティクスによる子豚の健全育成評価	東北大学	3

※7 【令和3年度補助金一覧（収益化分のみ）】

【百万円】

No.	事業名	交付元	収益計上額
①	授業料等減免補助金	宮城県	112
②	科学技術人財育成費補助金（次世代アントレプレナー育成事業 EDGE-NEXT）	文部科学省	4
③	宮城大学後援会キャリア開発支援事業	宮城大学後援会	3
④	令和3年度全国競売・畜産振興会畜産育成事業	全国競馬・畜産振興会	13
計			131

※8 【寄附金収益増加の内訳について】

（寄附種別ごとの増減内容）

【百万円】

寄附種別	令和3年度	令和2年度	増減	備考
奨学寄附金	11	8	3	受入件数20件（+7件） 受入金額24M（+12M）
地域振興寄附金	15	26	-11	充当対象の職員減（常勤▲1名，非常勤1名）
その他	6	10	-3	現物寄附等（科研費により調達した備品含む）
寄附金収益合計	32	44	-12	

令和3年度のネクストリーダーズ基金の執行はなかったため，収益化額は0円。

（参考）

【百万円】

	令和3年度	令和2年度	増減	備考
資産見返寄附金発生額	8	8	-1	

運営費交付金や授業料と同様に，寄附金で資産を調達した場合，収益からは除外される。

【参考情報：水道光熱費の増加について】

【百万円】

キャンパス	種別	令和3年度	令和2年度	増減	要因
大和	水道	5	4	1	対面授業の原則再開により，デザイン棟を含めた施設の本格稼働及び換気の徹底が要因と考えられる。
	ガス	32	23	9	
	電気	47	42	5	
	計	84	69	15	
太白	水道	6	6	1	対面授業の原則再開により，施設の本格稼働及び換気の徹底が要因と考えられる。
	ガス	20	17	3	
	電気	38	34	4	
	計	64	56	8	
両キャンパス合計		148	126	23	